

門扉の施錠



来客用インターホンと
帰宅用テンキーを設置します。



住宅のセキュリティは一般的に「防犯」といわれる分野です。多くの住宅が、玄関先まで誰でも入れてしまう為に、不審者の侵入が容易です。門扉の施錠は、不審者が簡単に敷地内に入り込むことを防ぐ為の「防犯の第一関門」となる重要なセキュリティエリアです。



退出ボタン



防水性の高いマグナロックは、門扉施錠に適した電気錠といえます。



インターホンやテンキーなどと組み合わせた利用例が多いです

住宅環境での利用

門扉の施錠



(内側)
退出釘

インターホン
防水型キー

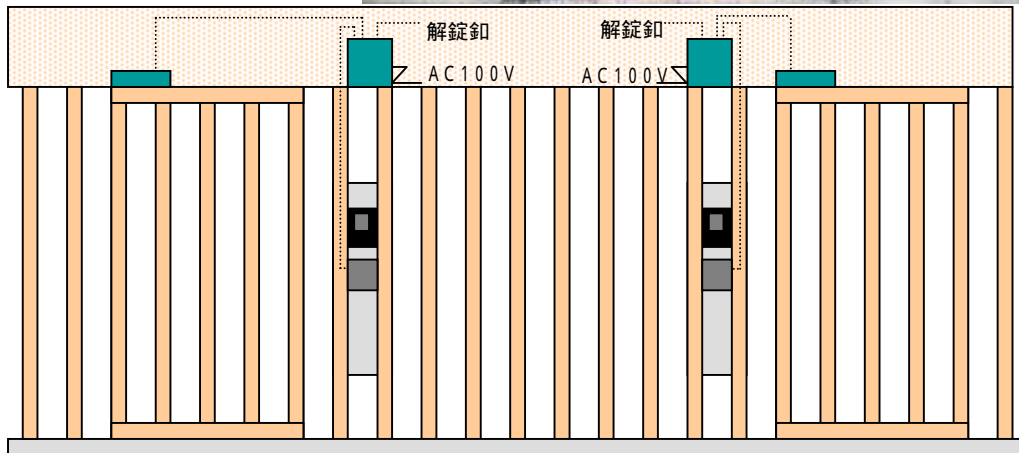


裏側



マグナロック

ストライクプレート



門扉は様々な開閉タイプがありますが、マグナロックならば、ほぼ100%取り付け可能です

住宅環境での利用

引き戸の施錠



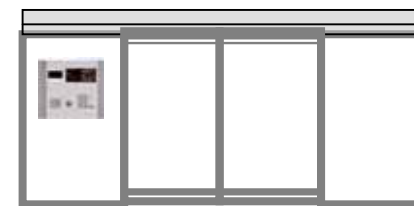
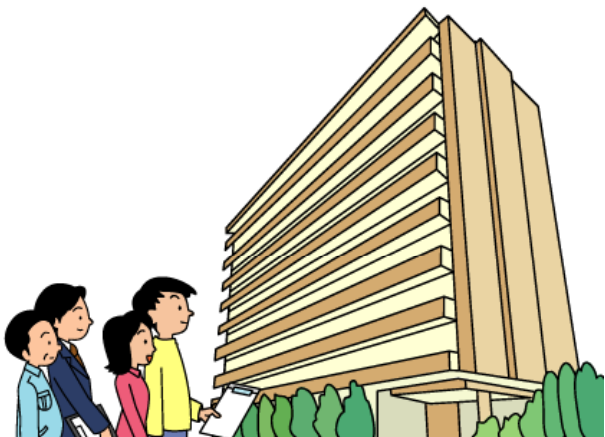
近年は、開き扉(ドア)が多くなりましたが、地方の大邸宅や雪国ではまだまだ引き戸の住宅があると思います。

開き扉(ドア)では、サッシメーカーが電気錠仕様もラインナップにしていますが、引き戸ではまだあまり見かけません。マグナロックによる、システム需要があります。



集合住宅環境での利用

エントランスの施錠



戸建住宅の「門」にあたる部分が、「エントランス」と言えます。
 近年のマンションでは、大きさの大小に関わらず、エントランスの施錠は当たり前になってきています。
 対環境(雨風など)も重要ですが、戸建住宅との違いは、開閉頻度の多さにあり、耐久力のある錠前が必要となります。

例: 100世帯のファミリータイプマンション、(1世帯4名平均)の場合
 1日の開閉頻度は、約1000回にもなります。
 年間約35万回の開閉となりますから、電気錠の公称寿命に換算すると
 一般の電気錠は、おおよそ6~7ヶ月で寿命を迎えます。
 マグナロックの場合は、おおよそ5年半の寿命となります。

集合住宅環境での利用

老人ホーム・グループホーム

一般のマンションと同様に、外部からの侵入のほかに、「徘徊」を考慮した施錠が必要です。
同時に非常口としての安全性を考慮しなければならないので、マグナロックが安心なシステムです。



閉扉状態



開扉状態 ドア側



開扉状態 枠側

また、出入りはもとより、トイレ
など引き戸(ハンガードア)が
多い事も特徴です。

各種施設での利用

保育園・幼稚園



保育園や幼稚園では、特に不審者対策が重要となっています。

「門扉」の施錠にマグナロックが有効です。

取り付け方法などは、住宅と同じですが、職員の方の為にリモコン送信機による施・解錠を行なうのが特徴です。

リモコン送信機
(カード型)

リモコン受信機

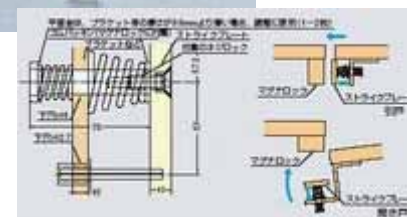
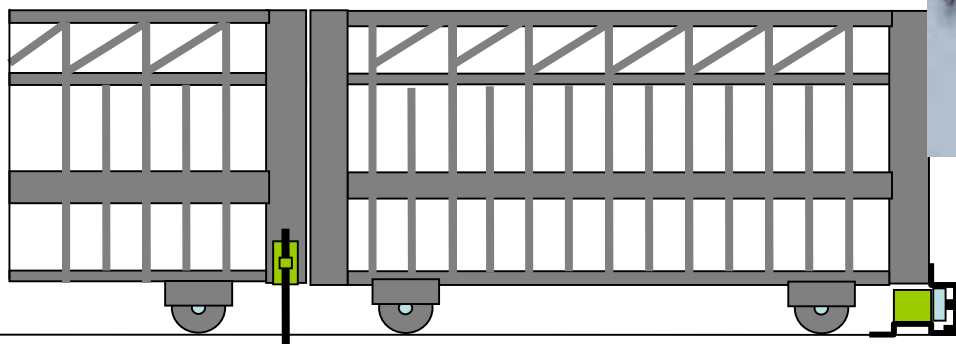
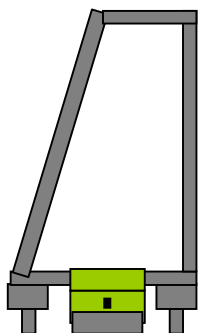


各種施設での利用

学校



学校も不審者対策です。
幼稚園や保育園より「門扉」が大型
であるので、様々な取り付け方法と、
特殊な衝撃緩衝装置などを使った
取り付けを実施します。
職員室でインターホンの顔確認
による施・解錠を行ないます。



衝撃吸収パーツ

各種施設での利用

その他(マリーナ)

一般の錠前では難しい場所のセキュリティアップにマグナロックを利用した、システム構築をしています



通用門(フェンス)



船舶搬入ゲート アコーディオン式ドア

各種ドアでの利用

様々なドアに対応できます



オフィス出入口



非常口(階段室)



自動ドア



パーティション



非常口



テンパードア